

**「高校生のための学びの基礎診断」認定された測定ツール
(基本情報)**

事業者名	株式会社ベネッセコーポレーション					
測定ツール名	スタディーサポート α タイプ、 β タイプ、 θ タイプ					
主な対象者	主に、四年制大学・短期大学等への進学を目指す生徒が多い高校の高1生～高3生					
対象教科	国語	数学	英語	⑤測定内容の区分	基本タイプ	標準タイプ
	○	○	○			○
測定ツールの目的・概要	<p>【目的】 大学進学に向けた、国語・数学・英語の基礎学力の定着度と学習力（学習習慣・学習方略等）について把握することで学校の指導改善、生徒の学習改善・基礎学力の定着・向上に役立てる。</p> <p>【概要】 ・生徒個人向けに、基礎学力の到達状況とその状況に基づいた個別の学習課題を結果として提供するとともに、課題克服に向けた教材や学習アドバイスを提供することで、受検結果を次の学習改善につなげる。学校へは学年集団の特性がわかる概況データ及びクラス担任・教科担任先生用に学習状況を踏まえた情報を提供することで、指導改善や生徒への声かけの材料として活用できる。 ・難易度は3タイプあり、3学年5回（1・2年は2回、3年は1回）の各回で履修進度に応じた出題範囲を設定している。義務教育範囲を含めた出題は1年1回でのみの出題となっている。 ・各教科「マーク解答式」問題と「記述式」問題に分かれており、主に、「マーク式」問題では基礎学力の「知識・技能」を、「記述式」問題では「思考力・判断力・表現力」を測定。</p>					
測定ツールの特長・活用例等	<p>【特長】 ・事前にドリル問題と目標設定ワーク付き冊子を提供。この冊子には、診断結果を見て取り組める事後ワークシートやアドバイスもついており、生徒個人が振り返りを行うことで次の学習改善を促す。学力診断については、その結果に応じた復習問題を生徒個別に結果データとあわせて提供し、自身の改善点を自覚し復習に取り組むしくみとなっている。また、問題演習だけでなく学習の仕方や工夫にも具体的なアドバイスを提供。 ・出題内容は実施時期に合わせた進度対応となっており、各回で異なる。問題難易度は3タイプ（難度順にβ、α、θ）を用意しており、β・αタイプは過年度比較用の同一問題（毎年同じ問題）、又は新作問題の選択が可能。θタイプは、前年度同一問題のみとなっている。</p> <p>【活用例】 1年4月入学直後に実施し、入学段階での「基礎学力」と「学習力」の初期把握を行い、その結果を学年の指導計画に反映する。また、個人結果をもとにしたクラス担任先生の個別面談により生徒一人ひとりの状況把握ができる。1年9月に第2回を受けることで、4月からの学力の推移と学習力の変容を把握し、4月からの指導成果を検証することで、学年後半の指導改善につなげる。</p>					
実施期間、年間実施回数	実施期間：第1回（3月～5月末）：1年・2年・3年 第2回（8月～10月末）：1年・2年 計5回					
実施方式（CBT/PBT）	PBT					
試験時間(分)	国語		数学		英語	
	①「マーク式」問題：50分、60分、70分の3種類の設定あり。学年回及び、現/現古/現古漢と難易度タイプで異なる。 ②「記述式」問題：15分		①「マーク式」問題：60分、80分、120分の3種類の設定あり。学年回及び難易度タイプで異なる。120分は3年で数学を2コース受検する場合。 ②「記述式」問題：15分		①「マーク式」問題：1年70分/2年3年は難易度タイプで70分/80分/90分/100分（ライティング・リスニング）の4種類の設定あり。 ②「記述式」問題：15分（ライティング） ③学校採点のスピーキング問題：5分	
受検料	3,100円（1回分） ※動画付は、1・2年用2回セットで7,440円、3年用1回で5,800円 ※すべて消費税等込					
標準返却期間	1回目：「マーク式」結果＝答案到着後約1週間～10日間で返却（紙） 2回目：「記述式」結果＝答案到着後約3～4週間で返却（データ）					
URL(事業者のHPにおける測定ツール紹介)	https://bhso.benesse.ne.jp/ ※教員専用URL					

指摘事項	出題に関すること	5	件
	結果提供に関すること	3	件
	運営その他に関すること	2	件